

八銚自治振興区の活動を紹介します

ノルディックウォーキング



11月5日、紅葉のピークを迎えたひろしま県民の森で「紅葉散策ノルディックウォーキング」を開催しました。支配人でインストラクターの伊折さんを講師に迎え、ポールを使った初心者向けのウォーキングを教わり、樹木や紅葉のお話を聴きながら、約1時間の公園内の紅葉散策を楽しみました。

地元にある施設を活用し、魅力いっぱいの地域資源を再確認するウォーキング。次回は春に開催予定です。

しめ飾り講座



12月18日に三坂老人会の方3名を講師に迎え、「しめ飾り講座」を開催しました。地域で昔から作られている伝統的な形や作り方を教わり、正月を迎える準備を楽しみました。年末のしめ飾り講座は毎年恒例。地域の伝統を伝えられる方を増やしていきたいです。



八銚の焼き芋、大人気！



今年は日本中で空前の焼き芋ブームだそうです！そんな中、庄原市内で「八銚の松永さんの焼き芋がスイーツの様に甘くて美味しい」と人気を集めています。芋は糖度の高い「紅はるか」。最近イベントにも出店され、人気を集めています。松永さんの自宅やファミリーマート西城店で購入することができますので、八銚に来られた際はぜひご賞味ください！



ひばごんだより

第4号
2022.1 発行
八銚自治振興区



八銚自治振興区、昨年も元気に活動させていただきました！

謹賀新年

今年もどうぞよろしく
お願いいたします。

トピック 芸備線沿線の今！！

6月にJR芸備線・木次線の存続問題が浮上して以降、沿線周辺地域は利用促進のために様々な取り組みが行われています。西城町観光協会では「芸備線ポロシャツ」が作られ、八銚でも多くの方がポロシャツを着ています。11月28日からは有志が募金を募って実現した「芸備線カーラッピング列車」が備後落合駅まで走り、地域を賑わせてくれています。当振興区でも12月4日に備後庄原駅で開催されたイベントに、油木駅・備後落合駅から芸備線を利用し備後庄原駅へ行くツアーに参加するなど、まずは「地元住民が芸備線を楽しむ」ことに積極的に取り組んでいます。



11月28日：初めて備後落合駅にやってきたカーラッピング列車。



12月4日：満席のカーラッピング列車内と、2020年に改修された備後庄原駅でピース。



八銚の旬の情報発信中！ 「ヒバゴンビレッジやほこ」HP
<https://www.yahokojichi.com>



コロナ自粛中は静かだった八銚も、JR芸備線・木次線の存続問題が浮上し一気に騒がしくなってきました。最近道路が整備され走りやすい広い道路がありますが、地域の方から昔の道を教えてもらうたびに「昔はこんな細い山道しかなかったんだな」と驚きます。道路が整備されていない時代、鉄道がどれだけ重要な過疎地の交通だったのか。過疎高齢化が進む庄原市では、高齢者の生活交通問題も。芸備線・木次線存続問題を発端に、地域が動き出しているなど感じています。

発行：八銚自治振興区
広島県庄原市西城町小鳥原 615-1
tel: 0824-84-2363
mail: yahoko.jichi@u-broad.jp



新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。ウィズコロナ時代に向けた新しい活動のステージに取組む年を迎え、今年こそは「収穫祭」を成功させたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。
八銚自治振興区 会長 片山 悟



芸備線・木次線ニュース

11月23日(火・祝)八銚自治振興センターを会場に庄原市・新見市・奥出雲町合同によるJR芸備線・木次線利用促進イベント「県境鉄道サミット」が開催されました。サミットでは3市町が鉄道の利用促進の取り組み事例を発表し、野外では3つの蕎麦の食べ比べなど飲食イベントが開催され、八銚自治振興区からも4店舗の出店協力をしました。神楽や餅まきも行われ、鉄道ファンなど約400名の来場者で大変賑わいました。28日には「芸備線カーラッピング列車」が運行されお披露目会が開催されるなど、沿線では芸備線・木次線の利用促進イベントで一気に賑わいを見せています。八銚自治振興区も市や関係組織と連携しながら、利用促進と地域振興への様々な取り組みを行うよう準備しています。



八銚自治振興センターでの鉄道サミット。たくさんの来場で賑わいました！

ブルーベリー植樹会を開催しました！

10月23日、「広島県緑の募金事業」を活用し、地域の方や子供達37名で、八銚自治振興センターのグラウンドに50本のブルーベリーの苗を植樹しました。講師の斎木先生に植え方や手入れ方法を教わりました。校庭への穴掘りや肥料作りなどの事前準備もあり、子どもから高齢者まで一緒に楽しくスムーズに作業することができました。「それぞれの心の記念樹」として皆で協力し1本1本植えたブルーベリー。順調に育つと夏には収穫できるそうです。今後は住民や地域の子どもたち、八銚に遊びに来られた方などと一緒に交流事業として、ブルーベリーの収穫会やお菓子作りなど楽しい行事も考える予定です。

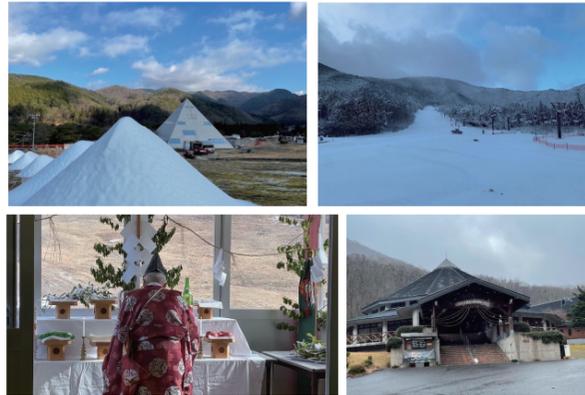


グラウンドにぐるりと植えたブルーベリー。センターが賑やかになりました！

町内3つのスキー場でスキー開き！

12月10日に「スノーリゾート猫山」、12月18日に「ひろしま県民の森」、26日に「道後山高原スキー場」と、西城にある3つのスキー場がスキー開きを行いました。昨年閉鎖していたひろしま県民の森は2年ぶりのスキー開きとなりました。各スキー場ではスキー開きの神事が行われ、今シーズンの安全祈願と降雪を願いました。

昨年は降雪量はあったもののコロナ渦で客足が遠く、一昨年は2年続けて降雪量が少なく、スキー場にとっては厳しいシーズンが続きましたが、今年は雪も豊富との予報なので、たくさんの方にスキーを楽しんでいただきたいですね。



上段：スノーリゾート猫山 左下：道後山高原スキー場 右下：ひろしま県民の森

西城の小学校の今

庄原市の学校適正配置計画により、今年度より美古登小学校が休校となり、西城町内には「保育所・小学校・中学校・高等学校」が各1校ずつとなりました。

10月17日、統合後初めての西城小学校の運動会が開催されました。今年はコロナ渦の影響で保護者の来場制限もあり、地域住民の参加行事は中止、行事も縮小され午前中のみでの開催となりましたが、子どもたちは元気いっぱいに日頃の成果を発表しました。

11月10日に開催された「西城っ子祭り」では「美古登ばやし」を演奏するなど、子どもたちは新たな伝統を築き上げています。今年度の西城小学校の全校生徒は101名、うち八銚地域の小学生は6名です。

少ない人数の中ですが、子どもたちは友達や先生、地域の方との人間関係を築き、各学校では地域密着型の教育が進められています。



現在の西城小学校。どこか懐かしい校舎。

やほこにUIターン！

須谷 康之さん・陽子さん・初ちゃん(2)



今回は約2年半前に、三次警察署から庄原警察署八銚駐在所に移動勤務され、八銚に移住された須谷さん家族を紹介します。

巡回連絡や地域の運動会や敬老会への参加などのお仕事の他にも、家族で地域活動に楽しく参加されている須谷さん。お母さんと一緒に地域活動に参加する娘の初ちゃんは、すっかり八銚落合地域の人気者です。



八銚の暮らしはどうですか？

第一印象はとんでもない山奥に来たなと思いました。八銚という地域がどこにあるのかも知りませんでした。でも暮らしているうちに、地域の皆さんの優しさを感じられてとても良い土地だなと思っています。山奥なのでどこに行くにも遠いと感じることもありますが、地域の方からよく声をかけて頂き、娘のこともよく気にかけてくださるのが嬉しいです。

地域の方々との関わりを大切に、地域活動の「青空広場」や「グランドゴルフ」など、楽しみながら参加させてもらっています。



左：こども駅長として活躍する初ちゃん。 右：地域活動にも参加。小さい子がいるだけで地域が明るくなります！

やほこグルメ！

高原酒造

(庄原市西城町油木 318-2)



油木駅の目の前にある倉庫の一部を醸造所に改装し、2018年6月に高原酒造としてどぶろくの製造販売を始めました。今年は約400Lを醸造予定です。少量生産のため、精米から醸造、瓶詰めまで一本一本手作業です。



米を蒸す高原さん。

「しょうばらどぶろく特区」で逸品作りに取り組まれている高原芳典さんをご紹介します。

どぶろく販売のきっかけは？

明治時代に酒税法が制定される前までは、各家で酒を作って自家消費しており、その名残で地域にはどぶろくの作り方が伝わっていました。自身もお酒が好きで、基本的にモノ作りが好き。「何もしなかったら廃れていく地域。何か行動を起こして地域貢献したい」という気持ちで、庄原市がどぶろく特区になった際に、講習会を受け作り方や食品衛生を学び、酒類製造免許を取得しました。自家製米を使うことや販売所を持っていることなど、どぶろく販売には条件がありました。自身も農業をしており、地域の加工品販売所「ゆき市」があったりと、条件が揃い挑戦することができました。

「地元の米を使った昔ながらのどぶろく。ぜひお土産などに使っていただき、お酒が話の種になって、少しでも油木に来る人が増えて欲しい。」との想いが詰まっています。

八銚での子育てはどうですか？

八銚に来た当初娘は生後2ヶ月で、周りに自然しかないことにちょっと不安でした。ですが、生活をしている中で地域の皆さんが娘に「初ちゃん、初ちゃん」と声を掛けて頂いたり、野菜の収穫においでと畑に誘って頂いたり、四季折々の花や虫を見つけに散歩したりと、ここでしか体験できない自然あふれるこの場所が大好きになりました。

地域の備後落合駅のボランティアの方から頼まれ、娘が色々な方と接することが出来たらという思いと、地域が少しでも賑わいを取り戻せばとの思いから、こども駅長の活動に参加させていただいています。地域の方々にはいつも温かく迎えてくださり、本当に感謝しています。

どぶろく「油木のしずく」の特徴

西城町油木のひとめぼれと比婆山の地下水で作った、トロツとした舌触りと米の粒感のある濁り酒です。米の甘みを感じられ、特に女性に人気です。少量生産のため年間を通じて生産しているため、気候により味に変化があります。そんな個性も楽しんでいただけると嬉しいです。



「油木のしずく」注文お受けします。

360ml 715円 720ml 1,425円(税込)

- ・高原酒造直売所、ウシル西城
- ・かんぼの郷、道の駅たかの

にて年間を通じて販売しています。また、お電話でも注文をお受けいたします。

高原酒造

TEL:0824-74-6844